三　事業施行期間　自平成二十八年九月二十七日至平成三十五年三月三十一日
四　事業地
収用の部分　沖縄県那覇市宇栄原二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目及び豊見城市字名嘉地地内
使用の部分　なし

○沖縄総合事務局告示第四十六号

都市計画法（昭和四十三年法律第百号）第六十三条第一項の規定により、都市計画事業の事業計画の変更を認可したので、同条第二項の規定において準用する同法第六十二条第一項の規定に基づき、次のとおり告示する。

平成二十八年九月二十七日

沖縄総合事務局長　能登　靖

一　施行者の名称　沖縄県
二　都市計画事業の種類及び名称　平成二十年沖縄総合事務局告示第一号名護都市計画道路事業三・四・四号伊差川線
三　事業施行期間　自平成二十年一月四日至平成三十三年三月三十一日
四　事業地
収用の部分　変更なし
使用の部分　なし

国会事項

開会式

第百九十二回国会の開会式は、九月二十六日天皇陛下の御臨席のもとに参議院議場において行われた。

衆議院議長は、次の式辞を述べた。

天皇陛下の御臨席を仰ぎ、第百九十二回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

今日、わが国をめぐる内外の諸情勢はまことにきびしく、早急に解決すべき幾多の重要問題があります。

われわれは、この状況を深く認識し、内政、外交の各般にわたり、すみやかに充実した審議を行い、必要な施策を講じ、もって国民生活の安定向上をはかるとともに、世界の平和と繁栄に寄与していかなければなりません。

ここに、開会式にあたり、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法の精神を体し、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえようとするものであります。

次に、天皇陛下から次のおことばを賜った。

本日、第百九十二回国会の開会式に臨み、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、国権の最高機関として、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、その使命を十分に果たし、国民の信託に応えることを切に希望します。

衆議院

議事日程

九月二十六日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号
平成二十八年九月二十六日（月曜日）
正午開議
第一　議席の指定
第二　会期の件
第三　常任委員長の選挙
第四　情報監視審査会委員の選任

一　国務大臣の演説

参議院

議事日程

九月二十六日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号
平成二十八年九月二十六日（月曜日）
午前十時開議
第一　議席の指定
第二　常任委員長の選挙
第三　会期の件
第四　国務大臣の演説に関する件

人事異動

内　閣

（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付））内閣事務官　**槌道**　明宏
国家安全保障局に併任する（九月十二日）

（内閣官房内閣参事官（内閣広報室））内閣事務官　柴山　佳徳
内閣官房副長官補付に併任する（九月十五日）

（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付））内閣事務官　向井　治紀
内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室次長を免ずる

（厚生労働省大臣官房付）厚生労働事務官　小林　洋司
（文部科学省大臣官房付）文部科学事務官　下間　康行
内閣事務官（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付））に併任する
内閣官房働き方改革実現推進室次長を命ずる（各通）

（内閣府男女共同参画局長（併））
男女共同参画局仕事と生活の調和推進室長）内閣府事務官　武川　恵子
内閣事務官（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付））の併任を解除する

（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付））内閣事務官　大塚　幸寛
内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室次長を免ずる（以上九月十六日）

法　務　省

○定年退官

仙台区検察庁副検事森**芳**雄は、検察庁法第二十二条の規定により九月二十三日限り定年退官

財　務　省

（国際局次長）財務事務官　土井　俊範
国際局長事務代理を免ずる（九月二十二日）

農林水産省

日本中央競馬会監事に任命する（各通）（九月十六日）
矢島　匡　小谷実可子

叙位・叙勲

○叙位

正五位に叙する
鈴木　一郎　多田　英雄　湯上　和弘
従五位に叙する（各通）

正六位に叙する（各通）
北川　晃　佐藤　正志
従六位に叙する（各通）
東　俊夫　関澤　英男　竹下誠一郎
畠　峯雄　和氣　功宇
正七位に叙する（各通）
筏　伊兵衛　松川　八郎
従七位に叙する（各通）（以上八月十一日）
山口　嘉夫
（東京大学名誉教授）
正四位に叙する
井形　昭弘
従四位に叙する
金子　四郎　黒瀬　澄男
従五位に叙する（各通）
中西　勲　鳩山　志清
正六位に叙する（各通）
岩田　和雄　落合　陽吉　小野寺　浩
田中　福一　中野　昭伍　新沼　幸一
吉村　守夫
従六位に叙する（各通）
北島　實　松岡洋一郎
正七位に叙する（各通）
（警視庁警部補）
従七位に叙する（以上八月十二日）
中澤　聡
（琉球大学名誉教授）
正四位に叙する
外間　宏三
正八位
原村　武利
従五位に叙する
河又　利博　東家　市夫　坂東　豊一
正六位に叙する（各通）
大塚　寛治　永田　幸昌　花田　守也
藤井　康男　松岡　秀二　村田　正也
山内　年　山本　三俊
従六位に叙する（各通）
梅田　勉　菅家　雅二　河本　博
小関　昭雄　佐藤　誠貴　蓬萊　晴二
目瀬美津雄
正七位に叙する（各通）
岩田　義臣　濱砂　忠利
従七位に叙する（各通）（以上八月十三日）
押本　一男　水無瀬信雄
従五位に叙する（各通）